

○選択必修領域

学校をめぐる近年の状況変化とそれに対する学校の組織的対応

講習番号	選必-1
講習名	学校経営と学校外の連携を考える
日程・時間	8月21日(金) 9:15~10:45
時間数	6時間(講習番号「選必-1」~「選必-4」の全講習の受講が必要)
受講料	6,000円(「選必-1」~「選必-4」の全講習分)
担当講師	山本 冬彦
募集人員	100名
概要	この講座では、学校と家庭、保護者、地域社会との関係のあり方について、まず、その制度的なしくみの歴史と現状についてお話しします。その後、この間の「教育改革」の流れのなかで、コミュニティスクールなどに代表される、最近の学校経営と地域社会との新しい関係のあり方を推し進めようとする政策レベルの動向について説明します。そして、学校が保護者や地域住民からの積極的な支援や理解を受けながら、その教育活動を十分に行っていくための課題や方策などについて考えていきます。
キーワード	「コミュニティスクール」、「開かれた学校」、「社会に開かれた教育課程」、「市民の教育参加」
受講者へのメッセージ	学校に求められる役割や使命が、昨今の社会生活の変化のなかで改めて問われています。また、学校と学校外の連携の必要性が近年ますます増えています。そして、制度的な「改革」が次々と行われようとしています。また、学習指導要領には「社会に開かれた教育課程」という文言も明記され、その展開のための様々な施策が行われようとしています。しかし、当事者同士での課題の共有のないところに連携や支援、参加はありえません。そこでさまざまな教育課題や地域社会の課題の理解と共有を軸に、学校と家庭、地域社会の関係を考えたいと思います。
主な受講対象者	